

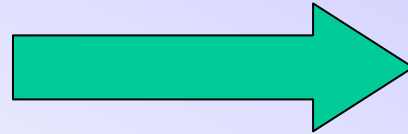
学びのきっかけと深化について探る

上越市立春日小学校
水落あき子

研究の背景

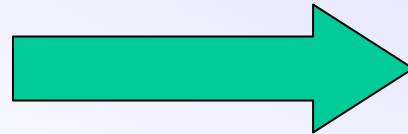
- ・教育的機会の充実

少人数学級・少人数指導など

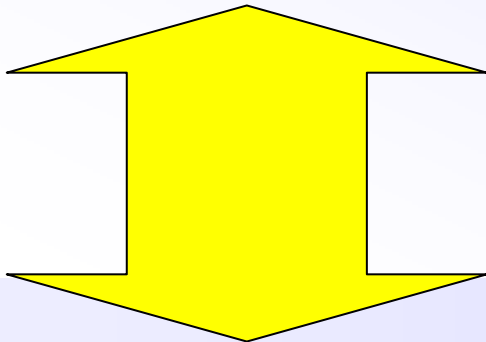


子どもの**出番**
を多くする

- ・現場における授業研究の手法



出番の子どもの
記録中心



出番を待っている子どもの学び

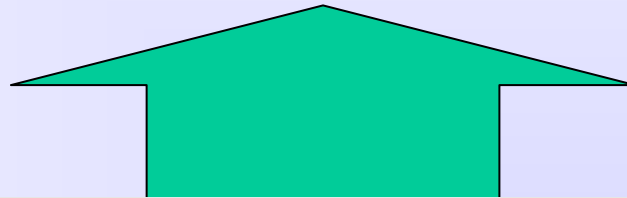
待っている子どもに起きていること

総合的学習
の時間
各教科
道徳

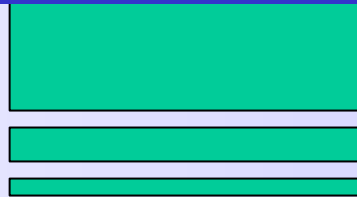
知識の
断片



物事に対する意味付け



- 課題意識をもち課題を解決していく学び



他者の学びとの出会い

他者の学びとの出会いから期待する学び

川喜田1993・・・「創造性教育」の必要性

「とくに欠けているのは、『判断』の過程で、どうしたらよいのか、生活の現実の場から生々しい情報を集め、組み立てる能力である。」

佐伯1995・・・文化的学習・協同的学習

文化的学習・・・「文化の成員ひとりないしグループがこれまでより『よい』
ものをつくりだしたり・・・」

協同的学習・・・「他者と協同して、自分だけではできないことをする」

自ら判断し、よりよく生きようとする学び



創造的な学び

創造的な学びの場の前提

- 考えや思い・願いが自由に交換・共有できること

桐生(2002)・・・「自由な活動の場の保障」

辺土名(2003)・・・「自由なコミュニケーションを認めること」

水落(2004)・・・「学習状況の可視化」

研究の目的

他者の学びに出会う場・・・「待ち」の時間の設定

1. 子どもが「待っている」時間に起きている学びについて観察し、そこでの課題意識の萌芽を感情反応(情動)を手がかりにして探る。
2. 課題意識をもった子どもが自分の学びを構築していくとき他者の学びがどのように影響しているかを行動分析により明らかにする。

研究の方法

調査について

・新潟市内B小学校 5年生37人

・社会科「くらしをささえる情報」

ニュース番組に携わる人々の工夫について学習した後、テレビ会議システムを利用し沖縄県の小学生に新潟のことを紹介する。

・2003年11月

・ビデオ撮影 会話分析・行動分析

・再生刺激法によるインタビュー

・ノートへの記述 行動分析

単元の概要

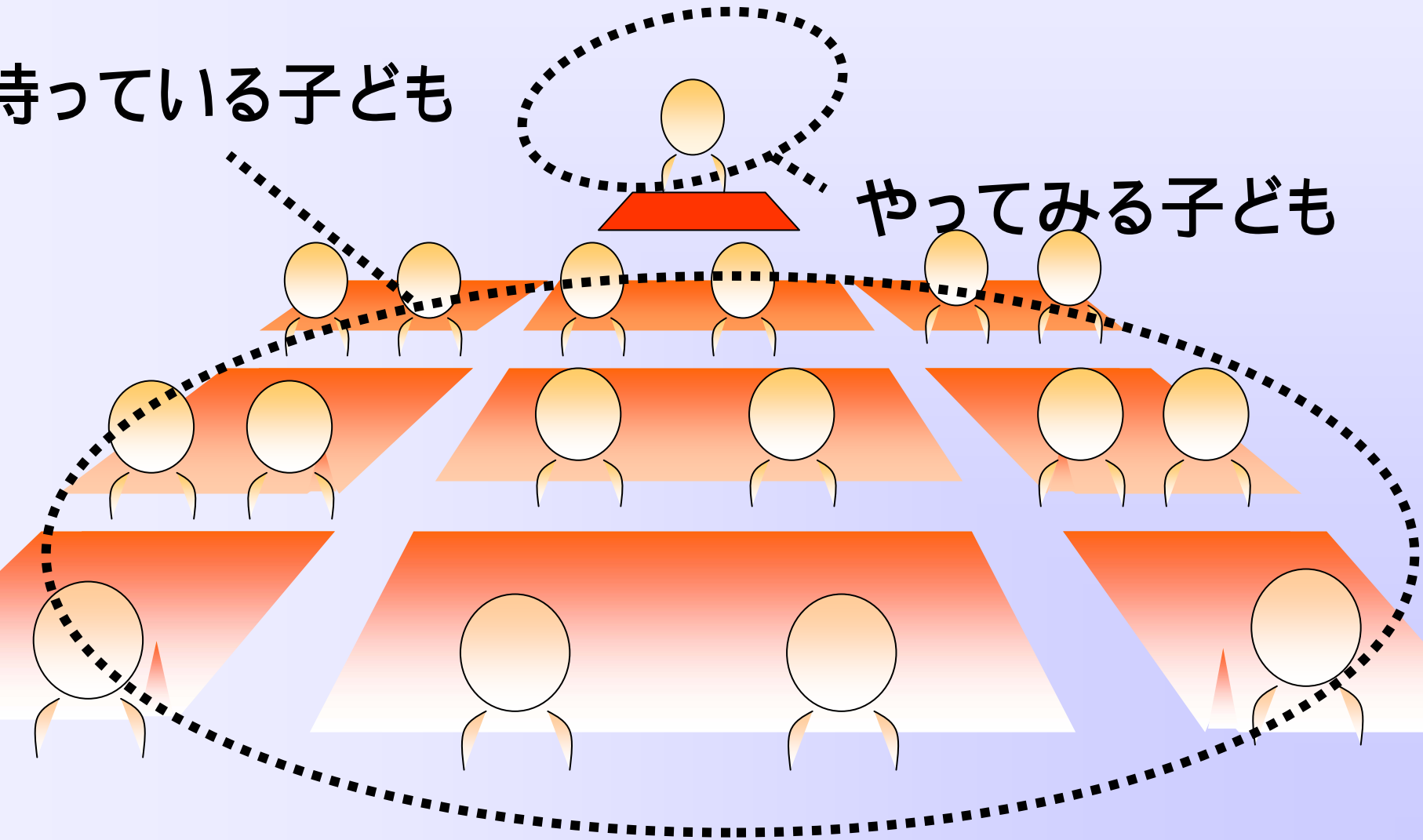
- 1次(2時間)「ニュース番組をつくる人たちの工夫」
を個人でレポートにまとめる
- 2次(1時間)個人レポートを班内で発表し、班の代表者
が学級全体でニュースを伝えるつもりで発表する
- 3次(2時間)沖縄の小学生に向けて新潟県(新潟市)
のことを調べ 班ごとに発表する練習とリハーサル
- 4次(2時間)手直しして2回目のリハーサル
- 5次(2時間)テレビ会議システムを利用し沖縄県の小
学生に新潟のことを紹介する。(本番)

他者の学びに出会う場

2次 班の代表者が学級全体の前でニュース番組の工夫について
ニュースを伝えるつもりで発表する場面

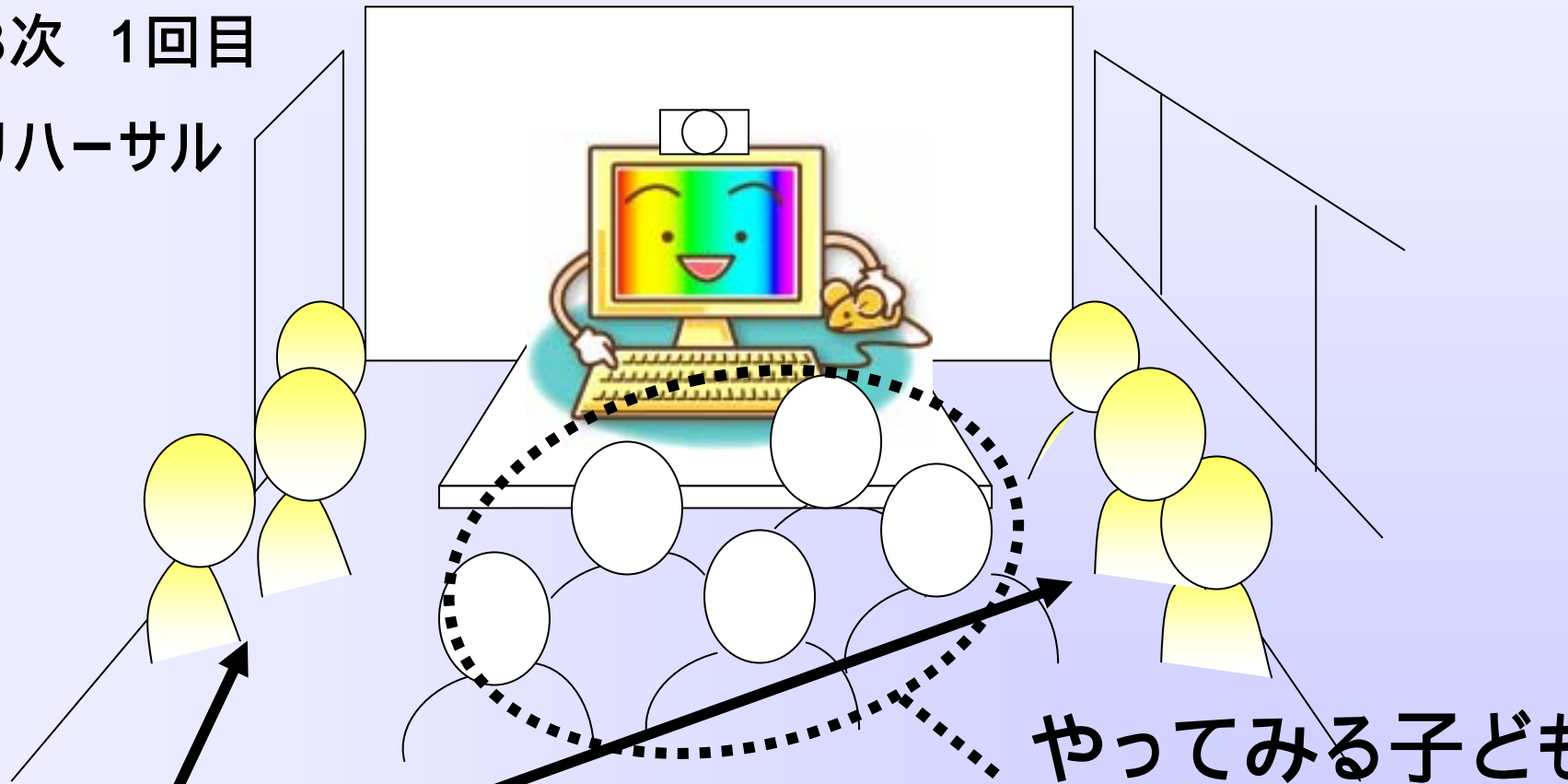
持っている子ども

やってみる子ども



他者の学びに出会う場

3次 1回目
リハーサル



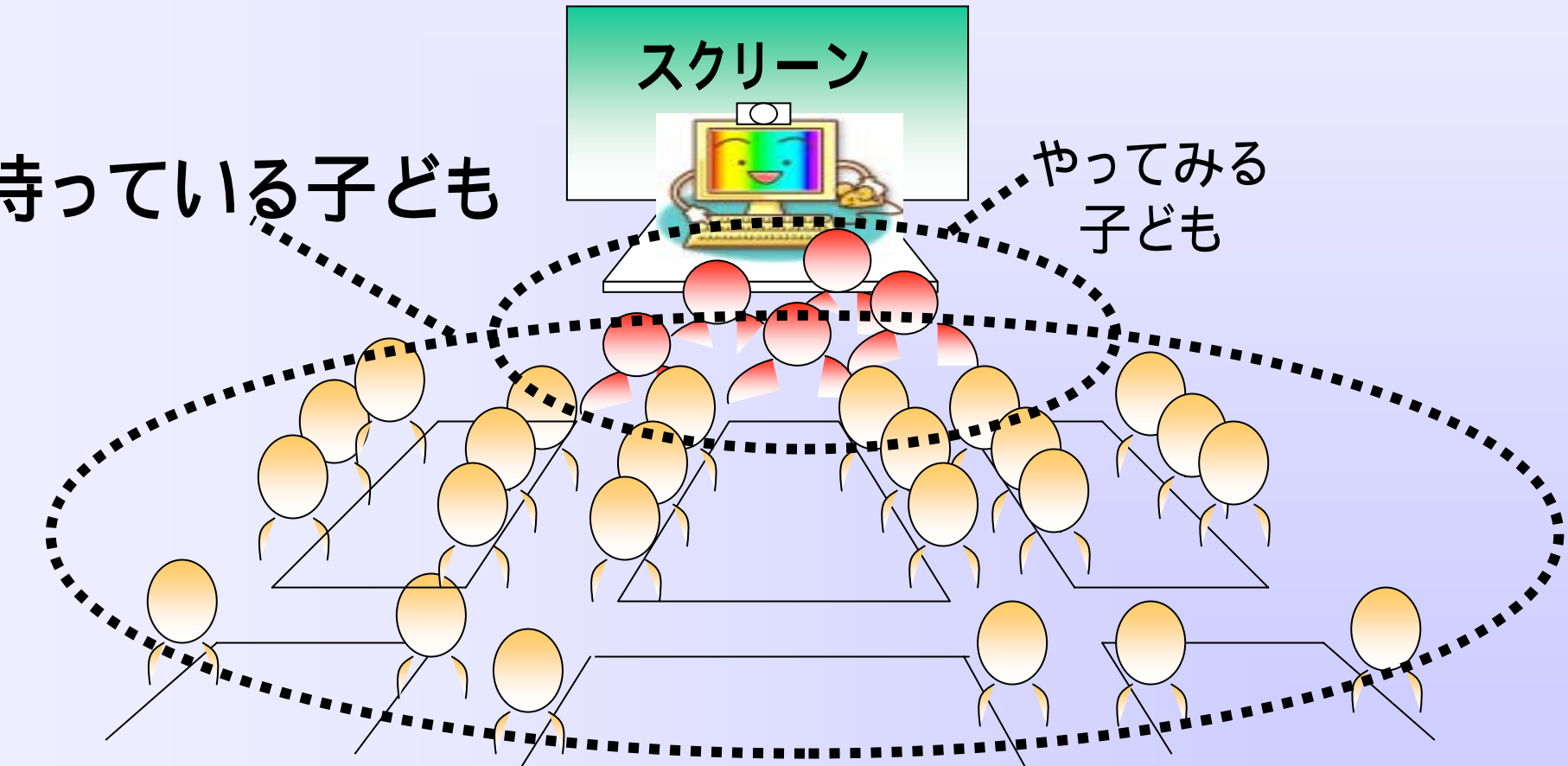
待っている子ども

TV会議システムを想定し

別室で待機する同じ学級の子どもと交信する

他者の学びに出会う場

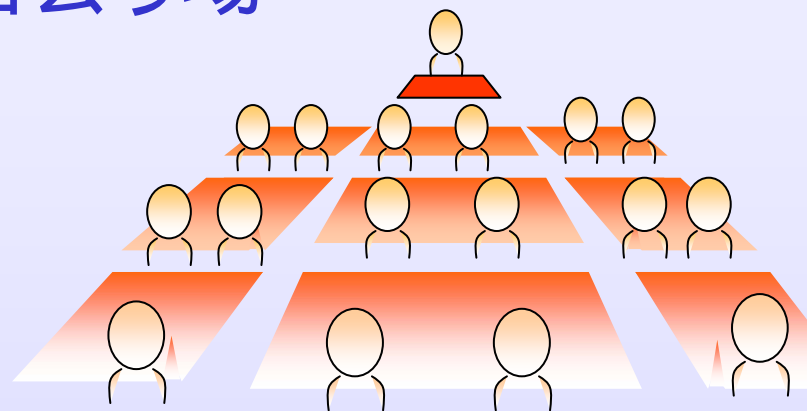
4次 2回目リハーサル及び 5次 本番



4次のリハーサルではスクリーンのモニター画面に自分たちの様子が写る。

今回の調査結果報告では…

他者の学びに出会う場

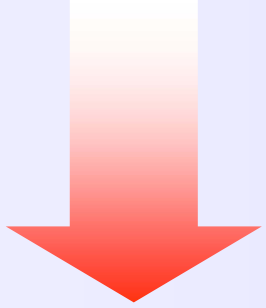


2次(1時間)個人でまとめたレポートを班内で発表し、
班の代表者がニュースを伝えるつもりで学級全体の前で発表する場面

情動

見ている(待っている)子どもの学び

・情動とは・感情反応(表情・身振り・声の調子などの身体表出)・・・森1995



・感性・情操とは

受信能力と発信能力(中島2002)

価値あるものに気づく感覚

価値あるものに向かう感情(片岡1990)

・今回の調査報告では、

個人について…

表情の変化

動作の変化

声を出す

観察者のとらえ

学級全体について…8割以上が

同じ反応を示したこと

調査結果

他者の学びに出会う場 から

友達の学びから課題意識をもったと考えられる学びの様子

班の代表者が学級全体の前で発表する場面

児童Aの事例

- ・ Aは2班の代表者である。
- ・ Aが1班の様子を見ているときの反応

学級全体の様子

- ・ 学級全体の児童の見ているときの反応

Aの反応 < 録音音声 >

教師：はい、それでは本番5秒前、4、3、
2・・・



A：顔を上げて前
(発表者及び教師
の方)を見る。

1班代表：ここ1班から
のニュースレ
ポートを発表します。

1班代表：まず、始めに 1！【指を出す】



A：前を見たまま
笑顔になる。

1班代表：はやくできる工夫。いつでも取材で
きるように24時間交代でしています。

1班代表： 2！【指を出す】



A：前をみたま
笑顔になる。

正確にできる工夫。ニュースのことに
なるので正確な情報を集めるように
しています。

⋮



1班代表：これで

…
のレポートを終わります。

A：顔を上げて前を見る。

教師：あと15秒。

A：立ち上がって見る。

1班代表：えっ。

A：少しずつ座る

1班代表：みなさんもニュースを…。

A：カット！の瞬間に立ち上がり笑う。

教師：カット！！（手を上げて）

教師：ごろうさまでした。すばらしいですね。

A：右手を一瞬上に上げて座る。

児童Aが反応したところ

発表の始まり



教師が**カウントダウン**をした

発表者が「**1!**」と言いな
が**指を前に出した**

発表の終わり

発表が**終わりに近づいた**

時間が**余った**

「**カット!**」で教師が手を
挙げ**発表を打ち切った**

Aが採り入れたこと

発表の始まり

教師: 5秒前、3、2、1、キュー!

A: ニュース 1! 【指を前に出す】

これから社会科ニュースを始めます。

発表の終わり

A: では、明日も楽しいニュースをお届けしたい
と思います。たのしみにしててくださいね。

A: さようならあ。【時間いっぱいまで手を振り
続けている】

A: さようならあ。

教師: カット!!

反応を示したこと 自分の発表に採り入れたこと

学級全体が反応したところ



効果音

中継さー
ん！

1！

みなさん、そう
思いませんか？

時間が余った！
どうしよう？

タイムキー

各班が採り入れたこと



Aだけでなく学級全体についても、反応したところ 採り入れたこと

子どもの意識

代表発表終了直後の1班の会話から

C: ねえ、アナウンサーって何人？

D: 一人だよ。

C: えっ一人！

D: ほんと、そうでしょ。
 (私)中継するから。

E: なんだあ・・・。

D: だから、あなたは・・・

F: アナウンサー。

D: アナウンサーで、あのバイバイって
 (時間が余ったときにする)やつ。



「中継」



「時間・・・」

G: 他の人は見てるだけ？
E: タイムなんか。
H: そうそう、タイムなんか。
C: タイムキーパー。
E: それぞれ。

「タイム
キー
パー」

G: (おれ、)音楽がいい。
E: 口でいうの？
G: うん。音楽ならいいよおれ。

「効果音」

代表発表で反応したことが意識の中に残っている

これまでのまとめ

- ・ Aは、反応したことを自分の発表に採り入れた。
- ・ 学級全体が反応したことと、各班がりハーサルで採り入れたこととは深く関係している。
- ・ 子どもが代表発表会を見たことは、子どもの意識に大きく影響している。



「待っている子ども」の学び

子どもは「やってみる」子どもと出会う場(待ちの時間)をもつことにより、課題意識をもつ

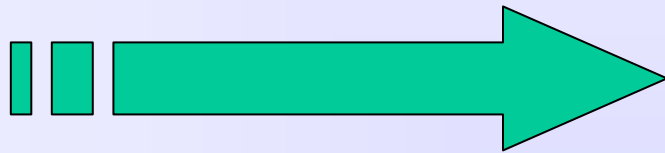
こうすると、楽しく伝わるかもしれない



こんなときは、どうしよう

これからの方向

具体的な立証を進める



エリクソンの法則
など

課題意識の深まり

学びの構築



リハーサル・本番
の分析と新たな
調査